



平成25年12月4日

各 位

会社名 帝人株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 大八木 成男
(コード番号 3401 東証第一部)
問合せ先 I R担当部長 池田 正宏
(TEL 03-3506-4395)

フィルム事業の国内生産拠点の再編及びそれに伴う特別損失の発生について

当社子会社の帝人デュポンフィルム株式会社において、以下のとおり生産拠点の再編を決定しましたのでお知らせいたします。

1. 国内のポリエステルフィルム生産拠点の集約

帝人デュポンフィルム株式会社では、これまで岐阜事業所、宇都宮事業所、茨城事業所の3拠点をポリエステルフィルムを生産してきましたが、生産を岐阜・宇都宮の両事業所に集約することで生産効率を向上させ、グローバルでの競争力強化を図ります。既に拠点の集約には着手しており、2013年12月末までに完了する予定です。

2. 茨城事業所の事業活動停止

上記の生産拠点集約の完了に伴い、茨城事業所での事業活動を停止します。

これまでにポリエステルフィルム事業の競争力強化に向けて、様々な施策を講じてきましたが、グローバルでの競争が一層激化する中で、拠点集約により生産効率を向上させることが将来にわたる収益力の維持に必須であるとの判断から、今回の決定に至ったものです。なお本件実施に伴い、茨城事業所の従業員についてはデュポン株式会社に出向復帰する予定です。

【茨城事業所の概要】

- ・正式名称 : 帝人デュポンフィルム株式会社 茨城事業所
- ・工場所在地 : 茨城県行方市芹沢 920 番地 84
- ・事業内容 : ポリエステルフィルムの製造
- ・生産能力 : 10,000Ton / 年
- ・操業開始 : 1990年1月 (当社グループへの編入 : 2000年1月)
- ・従業員数 : 約 80 人

3. 本決定に伴う損益への影響

上記事業活動の停止に伴い発生する、当該生産設備等の減損損失を主とする構造改善費用 約 26 億円について特別損失として計上する見込みです。なお、帝人デュポンフィルム

株式会社の当社出資持分を考慮した当期純利益への影響（減少）額は、約 16 億円と見込まれます。

一方で本件実施に伴う固定費の削減等の効果として、フル発現時で年間約 14 億円（営業利益ベース）の収益改善を見込んでいます。

4. 平成 26 年 3 月期 業績見通しについて

上記、特別損失の発生については、平成 25 年 11 月 1 日公表の平成 26 年 3 月期の業績予想値に含まれていません。ただし、上記に加え海外の持分法適用関連会社での税効果調整等の影響も見込まれることから、平成 26 年 3 月期通期決算における業績予想値については、現時点において変更いたしません。その他損益影響等も含め、業績予想値を修正する必要が生じる場合には、速やかに公表いたします。

以 上